

## ボランティア養成・研修事業

# 法人ボランティア養成セミナー

### 1 ねらい

- ・独立行政法人国立青少年教育振興機構のボランティアとして一定レベルの資質を確保するとともに、青少年教育施設におけるボランティア活動を推進し、その活動機会の拡充を図るため、法人ボランティアの養成を行う。

### 2 期日

令和7年5月24日（土）～25日（日） 【1泊2日】

### 3 対象

15歳以上（高校生以上）

### 4 募集人数 / 応募人数 / 参加人数

50名 / 27名 / 22名（5名参加決定後にキャンセル）

### 5 講師・スタッフ

富山大学教育学部 准教授 福島 洋樹 氏  
富山国際大学 教授 村上 満 氏  
国立能登青少年交流の家 所長 北見 靖直 氏  
日本赤十字社 指導員 3名  
法人ボランティア 6名

### 6 後援・協力

後援：富山県教育委員会、新潟県教育委員会、北日本新聞社  
協力：富山大学、富山国際大学

### 7 日程

日付	曜日	午前	午後	夜
5/24	土	○開講式 ○講義 「ボランティア活動の意義」	○講義・演習 「安全管理(救命救急法)」 ○講義・演習 「ボランティア活動の技術」	○交流会
5/25	日	○講義 「青少年教育」 ○講義 「青少年教育施設の現状と運営」	○説明 「青少年教育施設における ボランティア活動」 ○閉講式	

### 8 参加者からの事後アンケート

- ・先輩ボラの発表を聞いて、本当に立少ボラが好きなんだとわかった。また、どれだけ本気で向き合っているのかが伝わってきた。子供に対する思いもすごかった。私もこのようなボラになれるかな、なりたいなと思った。
- ・野外炊飯では、火を起こすところから始めて、みんなで協力してカレーを作った。班の人と声をかけ合って無事に調理できた。普段の便利な生活のありがたさや、仲間と協力することの大切さを感じることができ、楽しくて学びの多い体験になった。

- ・ 凄く緊張して、グループのみんなと話すのもあんまり積極的にできてなかったけど、仲間づくり活動を通して、グループ意識がもっと芽生えたとし、仲が深まって、沢山笑って、沢山話すきっかけになったので嬉しかった。初めて会う人達と協力して頑張ることの楽しさを感じた。

## 9 成果

- ・ 先輩ボラの事前研修を行ったことで、「当日安心してサポートに入ることができた」「事前にメンバーとコミュニケーションをはかったことで仲良くなり、当日楽しく参加できた」などのコメントをもらった。例年、事業前日の夜に先輩ボラを集め、打ち合わせを行っていたが、翌日の朝はバス送迎の関係で早く動くことを考えると、ある程度事前に打ち合わせ・研修を行ってよかった。
- ・ 先輩ボラが参加者の中に意図的に入ることで、参加者とのつながりをつくることができた。「先輩ボラが優しく、緊張したけど頑張れた」「先輩ボラが子供と真剣に向き合っていることが伝わり、尊敬した」などのアンケート意見から、ボラの魅力が伝わったことが伺える。

## 10 今後の課題

- ・ 立少ボラの割合を多く占める富山国際大学の1年生の必修授業と本事業の日程が重なった。3月初旬に国際大学ボランティア担当と日程の確認を入念に行うべき。
- ・ 対面での広報はとても効果的である。特に講義後の休み時間では、参加を迷っている学生や全体での説明を理解できていない学生に直接声をかけることができるため、来年度は1年生だけではなく、今回獲得に失敗した2年生に向けても行うとよい。

